

ホッパー(RNA社製) セットアップ手順書

1. このドキュメントの目的

このドキュメントはホッパー(RNA社製)を配線、セットアップし、HMI(パソコンのソフトウェア)を操作して、初めてホッパーを動作させるまでの手順を説明したものです。

2. 梱包内容の確認

梱包内容は、注文頂いた内容によってお客様ごとに異なりますが、代表的な例では次のような梱包物からなっています。梱包内容を確認してください。

表 1. 梱包内容の代表例

No.	分類	仕様/型式など	梱包品/オプション	備考
1	ホッパー本体 (機械部分)	<Asycube240用> 2Lホッパー、または、3Lホッパー	梱包品 (左記のいずれか 1台を梱包)	<ul style="list-style-type: none"> ホッパー本体(機械部分)は、発注時の電源仕様(AC 110V/230V +10% -15%、電源周波数 50Hz/60Hz)に従って、調整されています。電源仕様と実際に使用する電源が異なると、使用できません。 ホッパー本体に貼ってあるラベル(製品仕様)に電源仕様が記載されています。
		<Asycube380用> 10Lホッパー		
		<Asycube 530用> 15Lホッパー		
2	コントローラ	ESG 1000	梱包品	ホッパーの仕様により、110V/230V +10% -15%のどちらかに設定されて出荷されます。
3	I/Oケーブル	-	梱包品	Asycubeの信号出力端子(OUT1、または、OUT2)とホッパーコントローラを接続する。
4	固定金具 または ホッパー固定 キット	-	発注内容 によって梱包に 含まれる	<ul style="list-style-type: none"> ホッパー本体を架台に取り付けるために使用 Asycube 240には、固定金具。Asycube 380 / 530用には、ホッパー固定キット(オプション)。



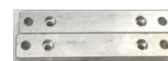
1. ホッパー本体
(15Lホッパーの例)



2. コントローラ



3. I/Oケーブル



固定金具

または



ホッパー
固定キット

4. 固定金具、または、ホッパー
固定キット

図1. 梱包品の例

3. ケーブル接続、および、ホッパー本体上の銘板の表示内容

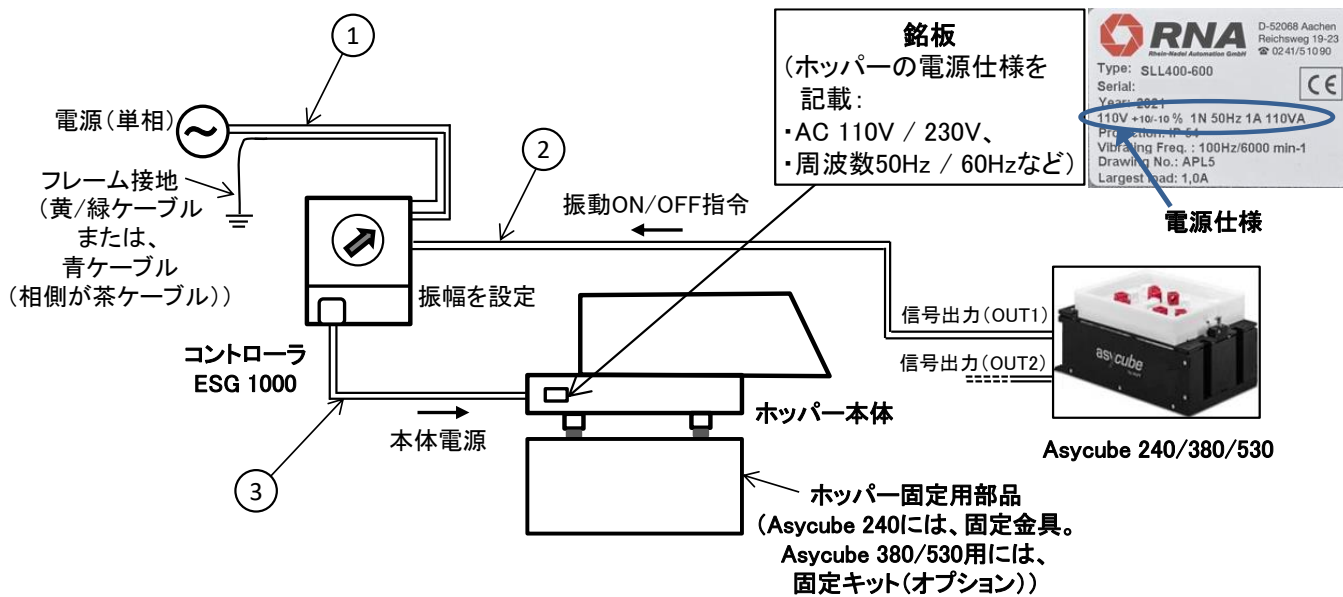


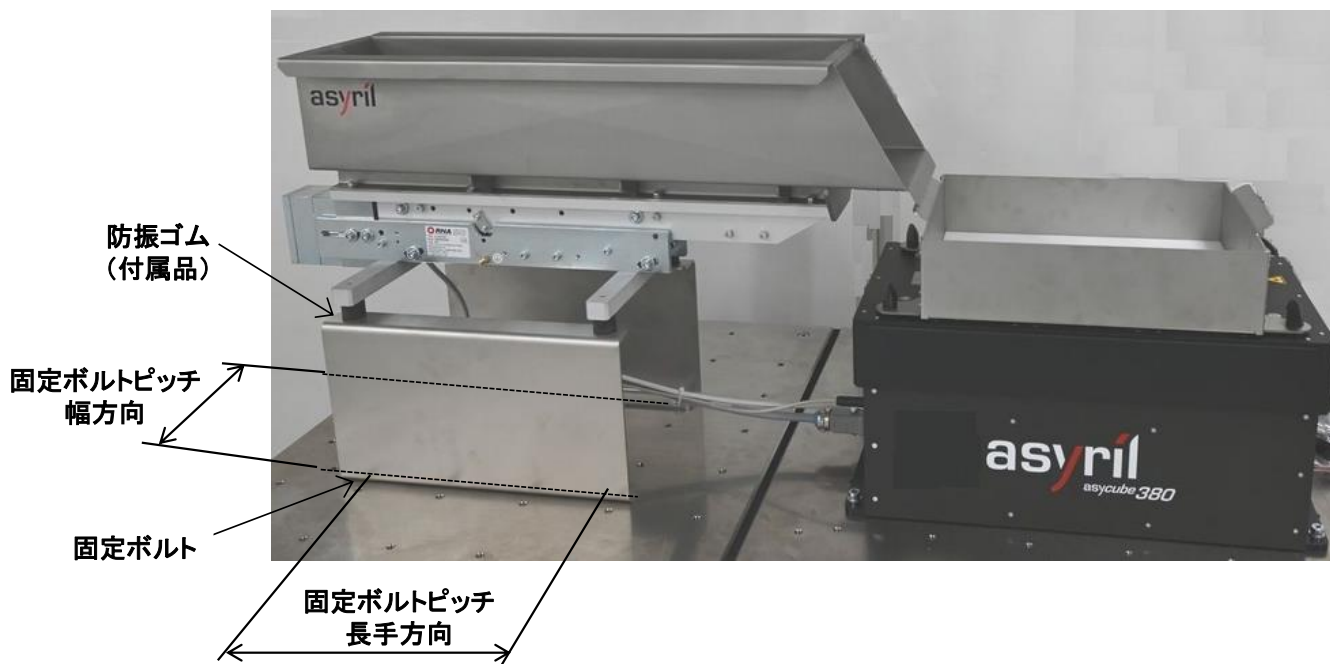
表. ホッパー関連のケーブル (No.は図中の番号)

No.	ケーブルの分類	説明	ケーブル長	末端処理
①	電源ケーブル	コントローラから出ているケーブル	1.5m	ユーザ側で末端処理が必要 (電力供給側に端子を接続)
②	振動指令用ケーブル	コントローラから出ているケーブル	約1m	(不要)
		コントローラケーブル～Asycube間I/O	約3m	(不要)
③	本体への電源ケーブル	コントローラ～ホッパー本体間	2m	(不要)

図 2. ケーブル接続、および、ホッパー本体上の銘板内容

4. 本体の固定方法

本体を架台にボルト(M8×4本)を使って固定してください。



写真：Asycube 380とホッパー取り付けの例

(注) ホッパーの取付け関連寸法については、Asycube取扱説明書を参照ください。

該当の Asycube	取付ボルト	ボルト取付ピッチ (長手方向×幅方向)	ホッパー固定用の部品
Asycube 240	M8 x 4本	200mm X 140 mm	Asycube 240には、固定金具
Asycube 380	M8 x 4本	300mm X 220 mm	固定キット(オプション)
Asycube 530	M8 x 4本	300mm X 220 mm	固定キット「オプション」

図 3. ホッパー本体の固定

5. HMI からの操作でホッパーを動作させます。

- (1) Asycube、HMI(パソコン)、ホッパーの電源を入れる。
- (2) Asycube セットアップ手順書の「手順 6(HMI の操作: Asycube を HMI に登録する)」までの操作を完了する。
- (3) HMI からの操作(図 4)により、ホッパーが動作する。

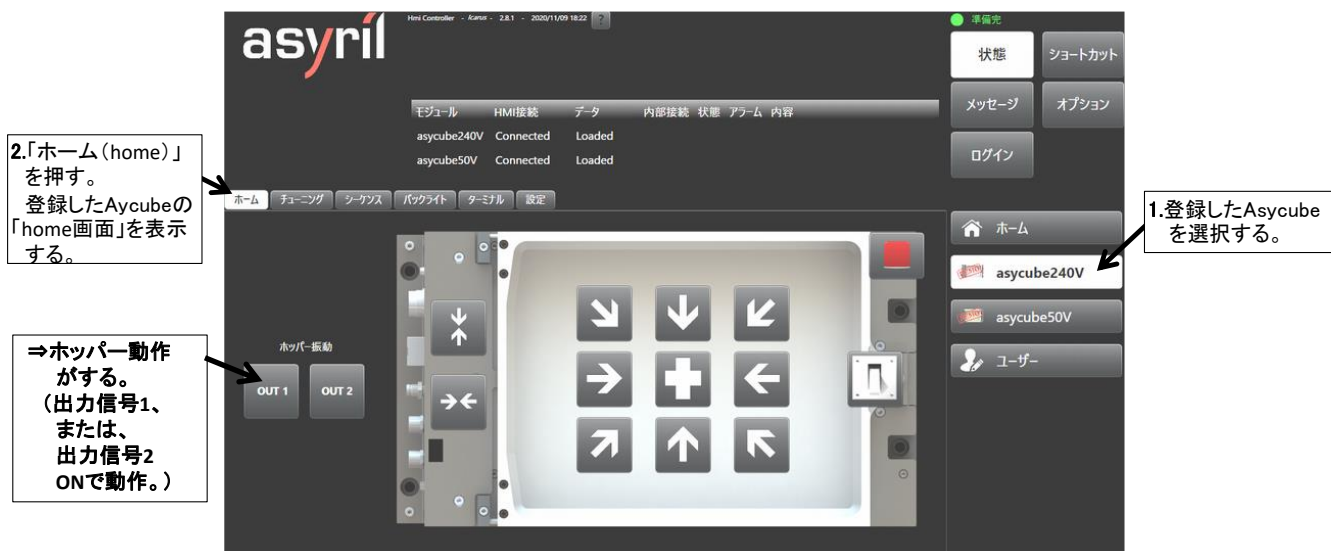


図 4. HMI からのホッパー動作

以上